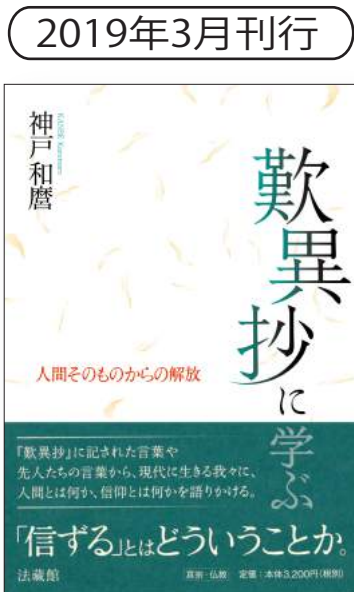


歎異抄に学ぶ

人間そのものからの解放

かんべ かずまろ
神戸和麿著 ▼四六判・上製カバー・二九六頁・本体三、二〇〇円十税



「信ずる」とはどういうことか？
『歎異抄』に記された言葉を読み解き、現代に生きる我々に、人間とは何か、信仰とは何か、教団はどうあるべきかを語りかける。

【目次】

はじめに……渡邊晃純

誓願・名号の不思議——報土往生(第十一章)

歎異の精神／大悲の誓願——報土往生／願生の道——如所有と尽所有

誓願・名号の不思議——本願に相應して(第十一章)

信仰の意識・目覚め／本願に相應して——他力をたのむ

誓願・名号の不思議——念仏をも自行になす(第十一章)

賢きおもい／念仏をも自行となす

誓願・名号の不思議——果遂のちかい(第十一章)

如来選択の願心／人間の関心からの仏法／果遂のちかい

本願を信じ、念仏をもうす(第十二章)

聖教の本意——人間の食物／仏の智慧に呼びさまされて——本願をむねとす／本願に生きる——むなくすぎず

本願に生きる——善悪・淨穢を超えて(第十二章)

お聖教に学ぶ——何を学ぶのか／浄土宗の独立——法然の仏教運動／念仏の道——善悪と貴賤思想

本願と宿業(第十三章)

親鸞と唯円の対話／本願をうたがう——善悪の宿業／自己とは何か／真如の道理と宿業／人間——

善悪の宿業／深く自身を信ず——機の深信／仏願力に乗じて定んで往生をう／法藏菩薩の修行

念仏往生の利益(第十四章)

念仏の菩提樹／命終の時に臨みて——死への不安／病悩苦痛の中で——満之と子規／「生きる」ということ／念仏は滅罪のことか／他力の信心——正定聚の機

浄土真宗(第十五章)

真宗の歴史観／教行証——浄土・聖道の別／仏道の行／弥陀成仏／易行の道／生死の苦海をわたり弥陀の智慧をたまわって——ひとたびの回心(第十六章) 道を求めて／弥陀の智慧をたまわって／疑いと信心を求めて／弥陀の智慧をたまわって／疑いと信心を求めて／弥陀の智慧をたまわって／疑いと信心

辺地の往生——信心の私化・私有(第十七章)

報土と辺地／本願の行信／難信——信仰の歩み

施人物の多少——サンガの私化・私有(第十八章)

「三宝」をはなれた道場／無碍光如来に帰命す／他力の信心

あとがき……市野智行
編集後記……藤村 潔

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 本体三、二〇〇円十税 神戸和麿著 歎異抄に学ぶ ——人間そのものからの解放 ISBN: 978-4-8318-7725-3 C0015	
住所	お名前
電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗・仏教